

この世には、
また雨が降って
るよ。な
どと雨を嫌がる
日本のような国
と、そうでは
ない国がある。
日本は他国と
比べても降水量
が多い。そんな
雨水の豊富な日
本だからこそ、
その雨水を有効
に使っていくべ
きだと思
う。そして、そ
れが世界に発信
され、また工
場にも繋がっ
ていくとよい。

その為に僕は、
雨が上から下へ
降ってく
るのと、た
くさんの量があ
るというこ
とに着目したい。
上から下へ降
ってくるとい

静岡県立浜松西高等学校・中等部

うことにより、
より長く正確に
浄水し送るこ
とができる。た
くさんの量があ
るとい
ことで、溜めたり、
より多くの場所
へ運ぶこ
とが可能になる。

そんな雨水を利
用して作りたい
ものは、工
場の木だ。この
工場の木とい
うのは一言
でいうと大きな
木のことだ。そ
の木自体は人
工的なものだが、
骨組だけが金属
でそれ以外
は木材を使っ
ている。高さは
五十メートル
ほど、木の周囲
が十メートル
ぐらいだ。そ

てこの木のつくりは大きくわけ、五つある。
一つ目は雨水を溜める部分だ。ただ溜める
のではなく、木の天辺にアンテナをつけて、
人工衛星から雨雲の動きなどが送られるよう
にする。そして、送られてきた情報から雨の
向きを予想し、雨水を溜める大きな器をその
方向に向かせるのだ。

二つ目は雨水を出す部分だ。溜まった水は
少しずつ下に流れ、四十メートルほどから、
一月二回はらまかれる。高いところから出さ
れることにより、広範囲にまかれ、下にある
花や草などの植物が育っていく。

三つ目は雨水を浄水する部分だ。植物には
らまかれた以外の水は、太くて長い木の幹の
中で浄水される。幹の中には、数個の部屋が
あり、その中で微生物などにより浄水される
のだ。

四つ目は周りの家々に送られる部分だ。浄
水された水は、必要な時にこの木の根の中を
通って周りの家々に届けられる。そしてトイ

し用水や水道水などに使われる。
五つ目は憩いの場となる部分だ。浄水され
た後の水で使われずに残ったものは、木の根
元で水飲み場の水になったり、噴水となったり
子供達の遊び場になったりする。つまり、こ
の木の下には、緑豊かな公園となるのだ。
このようにエゴの木があれば、自然界にも
人々にも優しい親しみのもてる存在となるだ
ろう。さらに、このエゴの木が一つではなく、
日本の各地、いや世界中に広まれば、地球の
緑は増えていくであろう。また、世界で水が
少なく困っている人達にも役立つだろう。
その為には、世界中が協力できる平和な世
の中が必要である。世界中が笑って暮らせる
ようになつた時、雨水によつて自然が豊かに
なり、そしてまた人々の笑顔が増えていく。
そんなエゴの木があると、毎日が楽しくなり
そうだ。